

# 埼玉県衛生研究所報

REPORT  
OF THE

SAITAMA INSTITUTE OF PUBLIC HEALTH

第 15 号

昭 和 56 年

埼玉県衛生研究所

No. 15 (1981)

# 目 次

1 沿革	1
2 組織及び事務分掌	2
3 職員	3
(1) 職員の配置状況	3
(2) 職員名簿	4
4 業務報告	6
(1) 疫学部・病理細菌部	6
(2) 化学部	9
(3) 食品衛生部	10
(4) 環境衛生部	13
5 調査研究報告	15
(1) ウィルスに起因する食中毒様集団発生	15
(2) 昭和55年度におけるインフルエンザの血清疫学調査	21
(3) 埼玉県住民の毛髪中の重金属含有量について	30
(4) 児玉町における井戸水の農薬汚染について	35
(5) 硝酸、亜硝酸に関する研究(第1報)	
一母乳、牛乳および加工乳の亜硝酸含有量について	42
(6) 米飯に使用されているpH調整済の細菌抑制効果について	45
(7) 各種水における発熱性物質の比較	
一高圧蒸気法の滅菌による発熱性変化	48
(8) 中国核実験直後および平常時における原乳の波高分析結果について(1974~1980年)	55
(9) 河川水の汚染総合調査(I)	
一荒川、入間川および新河岸川水系(昭和55年度)	60
(10) 無届出し尿浄化槽放流水の調査	67
(11) K団地・下水処理場への流入水の負荷についての調査	71
(12) 食肉製品製造施設からの排水について	75
(13) 埼玉県内のへい獣処理場(化製場)の排水の水質についての調査(第2報)	80
(14) 六価クロム汚染地復元調査	87
(15) メッキ汚泥に対する溶融・焼結固定化処理の効果	96
6 資料	
(1) 埼玉県の腸管系法定伝染病の発生状況(1980年)	106
(2) 海外旅行者の腸管系病原菌検索状況(1980年)	110
(3) 梅毒血清反応検査成績について(1979年~1980年)	114
(4) 昭和54、55年度における風疹のHI抗体調査	117
(5) 畜産食品中の合成抗菌剤の残留調査	120
(6) 輸入穀類の真菌分布とマイコトキシン	122
(7) 埼玉県における広節裂頭虫症の事例について(1973年~1981年)	125
(8) 衛生害虫同定検査の結果について(1977年4月~1981年3月)	127

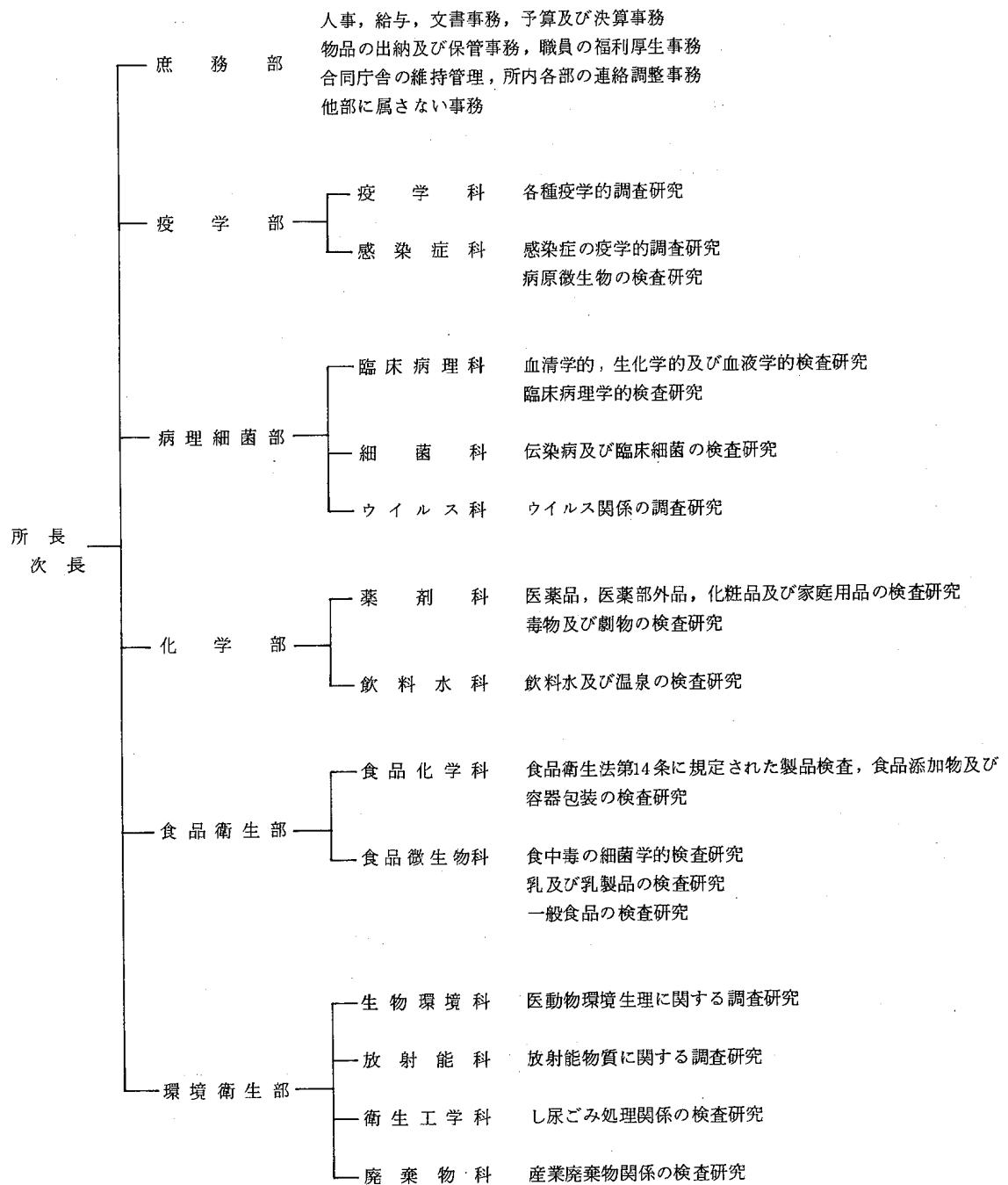
## 7 紹 介

(1) 最近のA群溶血レンサ球菌感染症について	133
(2) 埼玉県におけるA群溶血レンサ球菌及びその感染症の動向 —感染症サーベイランス情報と菌検索の現状(昭和54年度)—	133
(3) B群溶血レンサ球菌の生物学的性状及び菌型分布について	134
(4) 1980年の埼玉県の腸管系伝染病病原菌検出状況について	134
(5) 海外旅行者の腸管系病原菌について(1980年)	134
(6) 埼玉県の海外旅行者の腸管系病原菌検査成績(1977年6月～1980年6月)	135
(7) 1979年埼玉県内で分離されたサルモネラ菌型と薬剤耐性	135
(8) 成人病検診における電気泳動法によるHDL—コレステロール値の検討	136
(9) 埼玉県某精薄施設におけるB型およびA型ウイルス肝炎の血清疫学的検討	136
(10) 埼玉県精薄施設におけるB型およびA型ウイルス肝炎の血清疫学的検討	137
(11) アデノウイルスに起因すると思われる乳幼児急性胃腸炎	137
(12) B香港型インフルエンザのHA抗原の由来について	137
(13) インフルエンザA(H3N2)型とPR8(HON1)の共通抗原について	138
(14) 埼玉県における1978-1980年の手足口病発生状況	138
(15) Norwalk様因子による冬期嘔吐症の集団発生について	139
(16) 生薬の成分に関する研究(第1報) —修復試験及び復帰変異試験(Ⅱ)—	139
(17) The Murexide Reaction of Caffeine with Hydrogen Peroxide and Hydrochloric Acid	139
(18) カフェインによるMurexide反応の呈色機構について(Ⅲ)	140
(19) 酸性溶液中におけるTetracycline類のCu <sup>2+</sup> への配位	140
(20) Protonation Sites of Adenine Derivatives. I. Nuclear Magnetic Resonance Investigation of Adenine N-3 Derivatives in Dimethyl Sulfoxide-d <sub>6</sub>	141
(21) ハロゲン化フェノール類と塩素との反応によるトリハロメタンの生成度	141
(22) トリコテセン産生菌	141
(23) クロビドール(3,5-Dichloro 2,6-dimethyl-4-pyridinol)のニワトリ組織への残留と鶏卵への移行について	142
(24) ヒドララジンを用いた食品中亜硝酸イオンのガスクロマトグラフィーによる定量法	142
(25) ガスクロマトグラフィーによる血液中亜硝酸の定量法について	143
(26) Application of an Improved Steam Distillation Procedure in Residue Analysis. Part 2. Determination of 2-Phenylphenol in Citrus Fruits by a Spectrophotometric Method	143
(27) DETERMINATION OF NITRITE IN HUMAN, COW AND MARKET MILKS BY GAS-LIQUID CHROMATOGRAPHY WITH ELECTRON-CAPTURE	143
(28) うどんのつけ汁によるウェルシュ菌食中毒例について	144
(29) ガスクロマトグラフィーによる硝酸塩の定量	144
(30) 畜産食品中の残留ハイグロマイシンB検出法に関する研究	145
(31) 埼玉県における放射能調査(昭和54年度)	145

# 1. 沿革

年 月 日	概 要	備 考
昭和 22 年	衛生部の設置と同時に、警察部所管として明治 30年に発足した細菌検査所を衛生部の所管とした。	
昭和 25 年 10 月	大宮市浅間町に食品衛生試験所を新設し、食品、環境、衛生獣医などに関する試験検査業務を開始した。	
昭和 28 年 2 月	大宮市吉敷町 1 丁目に庁舎を新築し、細菌検査所と食品衛生試験所の業務を合併して、埼玉県衛生研究所として試験・検査・研究業務を行うことになった。 衛生研究所には、庶務課、病理細菌部（3科編成）、化学部（2科編成）、衛生獣医部（2科編成）及び生活科学部（2科編成）を設置した。	庁舎所在地 大宮市吉敷町 1 丁目 124 番地
昭和 28 年 12 月	開所式を行った。	
昭和 32 年 11 月	放射能研究室を新築増設した。	
昭和 37 年 9 月	ウイルス研究室を新築増設した。	
昭和 40 年 5 月 1 日	病理細菌部に 3 科、化学部に 3 科、疫学部に 2 科及び環境衛生部に 3 科を設置し、1課 4部(11科)制とした。	
昭和 43 年 11 月 1 日	公害研究部（2科）を設置し、1課 5部(13科)制とした。	
昭和 44 年 5 月 1 日	庶務課を庶務部と改正し、6部(13科)制とした。	
昭和 45 年 10 月	公害センターの設置により公害研究部を廃止し、5部(11科)制とした。	
昭和 47 年 4 月	浦和市上大久保に新庁舎を新築した。	庁舎所在地 浦和市上大久保 639 番地 1
昭和 47 年 5 月 16 日	大宮庁舎から移転し、業務を開始した。	
昭和 47 年 5 月 26 日	開所式を行った。	
昭和 48 年 7 月	食品衛生部(2科)を設置し、化学部を2科とし、6部(12科)制とした。	
昭和 49 年 5 月 29 日	衛生研究所敷地内に動物舎を新築した。	
昭和 50 年 5 月 1 日	組織改正に伴い従来の科名を県民になじみやすいように科名変更を行った。	
昭和 52 年 4 月 1 日	環境衛生部に廃棄物科を新設し、6部(13科)制とした。	
昭和 53 年 3 月	検査棟(放射能研究室)を新築増設した。	

## 2. 組織及び事務分掌



### 3. 職 員

#### (1) 職員の配置状況

(昭和56年10月1日現在)

区分 職種部名	事務	技術	その他	計
所長		1		1
次長		1(兼)		1
部長	1	3		4
科長		7		7
主任研究員		2		2
主任(事)	2			2
主任(技)		22		22
主任(技能)			3	3
主事	2			2
技師		12		12
技師(技能)			4	4
計	5	48	7	60
部別内訳				
		所長		1
		次長(兼)		1
庶務部	5		2	7
疫学部		4		4
病理細菌部		9	2	11
化学部		10		10
食品衛生部		13	2	15
環境衛生部		10	1	11
計	5	48	7	60

## (2) 職員名簿

(昭和56年10月1日現在)

部 名	科 名	職 名	氏 名	事 務 分 担	備 考
		所長 次長	岡田 正次郎 藤本 義典	所内統括 所内統括	医師
庶務部		部長	細井 祥	部内統括, 人事, 財産管理事務	
		主任(事)	笠川 和子	決算, 経理, 物品事務	
		主任(技)	松本 茂男	庁用車運転	
		主任(事)	関根 英郎	予算, 物品(備品)公有財産事務	
		主事	石川 佐知子	給与, 福利厚生事務	
		主事	小暮 正男	経理, 文書, 旅費事務	
		技師	和田 義信	庁舎整理, 動物飼育管理	
疫学部	疫学科	主任研究員	唐戸 哲哉	疫学的調査研究	医師
	主任研究員	中村 雅隆	環境汚染の生物学的調査研究		
	感染症科	技師	松岡 正	細菌学的, 血清学的検査研究	臨床検査技師
		技師	桐ヶ谷 まり子	細菌学的, 血清学的検査研究	衛生検査技師
病理細菌部	臨床病理科	部長	奥山 雄介	部内統括, 細菌学的検査	獣医師
		技師	河橋 幸恵	病理細菌調査研究	
		技師	野本 かほる	生化学的検査, 病理細菌調査研究	薬剤師
		技師	新井 康俊	生化学的検査, 病理細菌調査研究	臨床検査技師
	細菌科	科長	大関 瑞子	細菌学的検査研究	
		主任(技)	首藤 栄治	細菌学的検査研究	獣医師
		主任(技)	山口 正則	細菌学的検査研究	獣医師
	ウイルス科	技師(技能)	島田 サト	検査器具洗浄	
		科長	村尾 美代子	科内統括, ウィルス学的検査研究	薬剤師
		技師	戸谷 和丹	ウイルス学的検査研究	臨床検査技師
		技師(技能)	酒井 正子	検査器具洗浄	
化学部	薬剤科	部長	興津 知明	部内統括, 医薬品等検査研究 水質検査研究	
		科長	森本 功	科内統括, 医薬品等検査研究	
		主任(技)	石野 正蔵	医薬品, 毒劇物等検査研究	薬剤師
		技師	小山 又次郎	医薬品, 毒劇物等検査研究	薬剤師
		技師	野坂 富雄	医薬品, 毒劇物等検査研究	薬剤師
	飲料水科	技師	渡辺 富士雄	医薬品, 毒劇物等検査研究	薬剤師
		科長	鈴木 敏正	科内統括, 水質検査研究	
		主任(技)	松田 勝彦	水質検査研究	薬剤師
		主任(技)	広瀬 義文	水質検査研究	薬剤師
		主任(技)	鈴木 章	水質検査研究	
食品化学科		部長	岩崎 久夫	部内統括, 食品等細菌学的検査研究	獣医師
		科長	能勢 憲英	科内統括, 食品化学検査研究	薬剤師
		主任(技)	星野 庸二	食品汚染物質検査研究	
		主任(技)	田中 章男	食品添加物検査研究	
		主任(技)	菊池 好則	食品汚染物質検査研究	

部 名	科 名	職 名	氏 名	事 務 分 担	備 考
食品衛生部	食品微生物科	技師	清水 博正	食品添加物検査研究	薬剤師
		技師	齊藤 茂雄	食品添加物検査研究	
		技師	堀江 正一	食品添加物検査研究	
		技師(技能)	土屋 光子	検査器具洗浄	
		科長	徳丸 雅一	科内統括, 食品汚染細菌検査研究	獣医師
		主任(技)	栗栖 誠	食品汚染細菌検査研究	獣医師
		主任(技)	正木 宏幸	乳, 乳製品検査研究	獣医師
		主任(技)	柳川 敬子	食品汚染検査研究	獣医師
		主任(技)	板屋 民子	食品汚染検査研究	獣医師
環境衛生部	生物環境科	(兼)部長	藤本 義典	部内統括	
		主任(技)	武井 伸一	寄生虫原虫等検査研究	
		技師	高岡 正敏	寄生虫原虫等検査研究	
		技師	浦辺 研一	衛生害虫昆虫等検査研究	獣医師
	放射能科	主任(技)	中沢 清明	放射能測定, 分析調査	
		主任(技)	大沢 尚	放射能測定, 分析調査	
	衛生工学科	主任(技)	内田 文夫	生活排水の検査研究	
		技師	稻村 江理	生活排水の検査研究	
		主任(技能)	稻垣 礼子	検査器具洗浄	薬剤師
	廃棄物科	科長	小林 進	科内統括, 産業廃棄物の検査研究	薬剤師
		主任(技)	丹野 幹雄	産業廃棄物の検査研究	
		技師	小野 雄策	産業廃棄物の検査研究	

---

埼玉県衛生研究所報

第 15 号

昭和57年2月印刷

昭和57年2月発行

編集及び発行所 埼玉県衛生研究所

浦和市上大久保東639-1 〒338

電話 浦和0488-53-6121

印 刷 所 株式会社 信 陽 堂

浦和市高砂3-6-9

電話 浦和0488-29-2828

---